

主直日誌

5月 15日（火） 天候 b c 主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

ビンナガ一本釣り実習、餌運び、海洋観測

【感想（一日を振り返り、学んだこと、感じたこと）】

今日は、昨日の天候が嘘のように朝から晴れ、点呼の6時30分前に群れを見つけることが出来た。寝ぼけながらの操業は危険なので、私は5時00分には起きていた。急いで合羽に着替えたが、釣ることは出来なかった。しかし、朝食後の群れで初めてビンナガを釣った。ビンナガは、カツオと違い遠くで跳ねているが下から疑似針に食いついてきた。前回のカツオよりも2倍以上の重さがあったので、最初はとても焦った。しかし、回数を重ねるごとに2丁釣りのペアの人と息が合い、多くのビンナガとカツオを釣ることができた。ビンナガが自分の上を通り過ぎたときの達成感は一生の思い出になった。船員さんは簡単に釣り上げているように見えた。自分も船員さんのように釣り上げてみたいと思った。船員さんは腰を上手く使えば上げられるとおっしゃっていた。明日は、反対舷の班が釣る日です。今日のように怪我無く、たくさんビンナガを釣って欲しい。今後も操業、当直、課業を充実したものにしたい。



良い風、良い天気の中、待望のトンボが釣れました！！